

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	仮称 中日新聞社大府新工場	階数	4
建設地	愛知県大府市	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化調整区域	平均居住人員	66 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月 予定	評価の実施日	2018年7月20日
敷地面積	20,707 m ²	作成者	辺見
建築面積	3,764 m ²	確認日	2018年8月6日
延床面積	9,788 m ²	確認者	辺見



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100). BEE = G/L = 54/45 = 1.2.

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 重点項目

①地球温暖化への配慮

3.3

③敷地内の緑化

3.0

外構緑化指数 (外構緑化面積/外構面積) **30.9 %**

建物緑化指数 (建物緑化面積/建築面積) **0.0 %**

②資源の有効活用

3.5

④地域材の活用

1.0

<外装材に使用した地域性のある材料> なし

<建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> なし

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積} - \text{建物面積} + \text{附属物面積}}$ × 100

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建築によって占有された部分の水平投影面積 (法定面積)}}$ × 100

みんなの環境活動を応援しています

3 対応性・更新性				3.7	0.48			-	3.7
3.1 空間のゆとり				4.6	0.31			-	
1 階高のゆとり			階高4.0m以上	5.0	0.60			-	
2 空間の形状・自由さ			0.1 ≤ 壁長さ比率 < 0.3	4.0	0.40			-	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.31			-	
3.3 設備の更新性				3.7	0.38			-	
1 空調配管の更新性		②	構造部材を痛めることなく更新可能	4.0	0.17			-	
2 給排水管の更新性			構造部材を痛めることなく更新可能	4.0	0.17			-	
3 電気配線の更新性				3.0	0.11			-	
4 通信配線の更新性				3.0	0.11			-	
5 設備機器の更新性			更新時の搬出入ルート確保	5.0	0.22			-	
6 バックアップスペースの確保				3.0	0.22			-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.57			-	2.8
1 生物環境の保全と創出		独自③		3.0	0.30			-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④		3.0	0.40			-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				2.5	0.30			-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④		2.0	0.50			-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50			-	
LR 建築物の環境負荷低減性									3.2
LR1 エネルギー					0.40			-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制					-			-	-
2 自然エネルギー利用				3.0	0.28			-	3.0
3 設備システムの高効率化				2.8	0.43			-	2.8
4 効率的運用				4.0	0.29			-	4.0
集合住宅以外の評価				4.0	1.00			-	
4.1 モニタリング			中央監視設備あり	4.0	0.50			-	
4.2 運用管理体制			エネルギー消費予測あり	4.0	0.50			-	
集合住宅の評価					-			-	
4.1 モニタリング					-			-	
4.2 運用管理体制					-			-	
LR2 資源・マテリアル					0.30			-	3.5
1 水資源保護				3.4	0.15			-	3.4
1.1 節水			節水器具の採用	4.0	0.40			-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60			-	
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.67			-	
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.33			-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.5	0.63			-	3.5
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.07			-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.25			-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		② 独自	-	3.0	0.21			-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			ビニル床材	3.0	0.21			-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-			-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	工場内設備配管露出	5.0	0.25			-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.6	0.22			-	3.6
3.1 有害物質を含まない材料の使用			汚染物質を含まない材料4種類	5.0	0.32			-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68			-	
1 消火剤				-	-			-	
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50			-	
3 冷媒				3.0	0.50			-	
LR3 敷地外環境					0.30			-	2.9
1 地球温暖化への配慮		①		3.3	0.33			-	3.3
2 地域環境への配慮				2.5	0.33			-	2.5
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25			-	
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50			-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25			-	
1 雨水排水負荷低減		独自		3.0	0.25			-	
2 汚水処理負荷抑制				3.0	0.25			-	
3 交通負荷抑制		独自	駐車場、駐輪場確保	5.0	0.25			-	
4 廃棄物処理負荷抑制				1.0	0.25			-	
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33			-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40			-	
1 騒音		独自		3.0	0.50			-	
2 振動		独自		3.0	0.50			-	
3 悪臭				-	-			-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40			-	
1 風害の抑制				3.0	0.70			-	
2 砂塵の抑制				-	-			-	
3 日照障害の抑制				3.0	0.30			-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20			-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70			-	
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30			-	

重点項目スコアシート

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

仮称 中日新聞社大府新工場

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				3.3
LR3-1	地球温暖化への配慮	3.3	0.10	
② 資源の有効活用				3.5
Q2-2	耐震性・信頼性	3.4	0.22	
Q2-3	対応性・更新性	3.7	0.21	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.5	0.19	
③ 敷地内の緑化				3.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	3.0	0.17	外構緑化:30.9%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用			(評価ポイント)	1.0
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	0.0	-	なし

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 仮称 中日新聞社大府新コ

計画上の配慮事項	
総合	新聞印刷工場として必要な機能を、省エネルギー、更新性に配慮し適切に計画した。
Q1 室内環境	省エネルギーに配慮しつつ、新聞印刷工場としてふさわしい照明・換気計画とした。
Q2 サービス性能	設備機器の更新を想定した計画としている。
Q3 室外環境(敷地内)	立地特性を考慮し、工場として標準的な対応としている。
LR1 エネルギー	高効率機器やインバータ機の採用により省エネルギー化をはかっている。
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用や井水利用により省資源化をはかっている。
LR3 敷地外環境	立地特性を考慮し、工場として標準的な対応としている。
その他	